

平成25年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

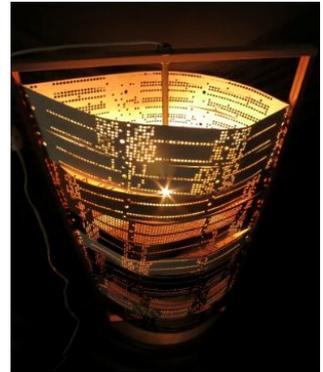
分類 番号	A20	取組 名称	学生の感性を活かした新しい西陣織製品の開発・研究
研究代表者： 生命環境科学研究科 教授・三橋俊雄			
研究担当者： 京都府立大学（三橋俊雄）、環境デザイン学科（研究生・斉藤千容） 外部分担者・協力者（及川光夫氏、川上忠義氏 ほか）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 西陣意匠紋紙工業協同組合			
【研究活動の要約】			
西陣織産業の低迷が続いている現在、西陣織文化を支え発信してきた西陣意匠紋紙工業協同組合も厳しい状況に直面し、現代社会に適応した魅力ある西陣織製品の研究・開発・生産・流通のあり方が求められています。本研究では、平成24年度の府大ACTRで実施した「若者をターゲットとした西陣織デザイン・開発」の成果をもとに、「皮素材と組み合わせた新しい感覚のバッグデザイン・開発」「緯糸の色変換による伝統的紋意匠・西陣織のデザイン開発」「紋紙を活用した製品デザイン開発」など、新たな西陣織および関連製品の可能性を探るため、専門家や学生の感性を活かした西陣織のデザイン開発・研究を進めています。			
【研究活動の成果】			
本研究では、新しい西陣織関連のデザイン開発、西陣織の伝統技術の調査、京都・西陣織の美学にまつわる歴史研究などを、以下のアイテムで実施しました。			
1) 現代のライフスタイルに適合したファッション用品を開発するため、皮素材と組み合わせた新しい感覚のバッグデザイン開発を、マーケット調査、本学学生によるデザイン開発検討会の開催などを通して検討し、制作提案を行いました。			
2) 伝統的西陣織紋意匠をベースに、緯糸の色変換によって現代人の感性に応える紋意匠デザインの創新を試みました。			
3) 西陣織（ジャガード機）で使用された紋紙を活用して、照明具の製品デザイン開発を行いました。			
4) 伝統的西陣織紋意匠（紋図制作）に関わる、紋屋さんの手技・技法・文化について、インタビューを通して調査しました。			
5) 西陣織を中心とした「京の美学」に関して、平安時代の「織部の司」から明治期のジャガード織機導入までの歴史的経緯、龍村平蔵の活動・功績、「京の着倒れ」「今日の華やぎ」などの文献考察を通して概観しました。			
6) デザイン作品展示・販売を実施しました。（京ものフェスタ・みやこメッセ、H25/3/15、府大流木祭、H25/11/16-17）			
【研究成果の還元】			
H25/6/25、「紋紙活用の照明デザイン提案」、西陣意匠紋紙工業協同組合、関係者等約10名。 H26/1/22、「京都学へのいざない講座・京の美学 西陣織の翻古為新」、大学会館多目的ホール、関係者・府民約100名			
【お問い合わせ先】 生命環境科学研究科、三橋研究室 教授 三橋俊雄 Tel: 075-703-5435 E-mail: tmitsu@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)

20~30代女性をターゲットとした<西陣織+皮>のバッグデザイン



紋紙活用の照明デザイン



西陣織伝統紋意匠の緯糸色変換による現代感覚への再生

